

# フレッシュ通信 Vol.3

## 秋葉 まゆ美さん (25歳)

住まい 三軒屋

趣味

スケートボード、読書。  
本は、ジャンルを問わず色々なものを 읽습니다。

好きな食べ物

ラーメン。おいしいお店を求めて、雑誌を参考に  
して食べ歩いています。

好きな男性のタイプ

人に流されない人、自分の考えを持っている人

尊敬する人

両親

中山町のこんなところが好き!

のどかで、住みやすいところ。

中山町に足りないものは?

今のままの中山町が好きです。もっと買い物する  
ところがあったら便利だとは思いますが、あまり騒々  
しくないのが中山町の魅力だと思います。



担当している患者さんから「秋葉さん  
に処置してもらえてよかった」と  
言っていただけのこと。  
細かい作業が多いので、集中力と緊  
張感を保たなければならず、意外と体  
力がある仕事ですが、このひと言を思  
い出すと疲れていても頑張ろうと思え  
ます。

### 患者さんとの関わりの中で 特に印象に残っている 出来事がありますか?

高校生のときです。それまでは、人  
と話すのが好きなので、なんとなく  
「将来は人と関わる仕事がいい」と  
考えていました。高校生になって医療  
系の仕事に興味を持つようになり、歯  
科衛生士になろうと思いました。  
「歯科衛生士」なので、歯のことだけ  
を勉強するのだと思っていただけです  
が、実は、歯は全身の健康に関わりがある  
そうなので、解剖学や薬理学など、たくさ  
ん勉強することがあって驚きました。

### 歯科衛生士を志すように なったのはいつですか?

今回は、秋葉まゆ美さんをご紹介します。  
まゆ美さんは、歯科衛生士として山形市  
内の歯科医院に勤務しています。

まゆ美さん、  
ありがとうございました♪



人と接することが好きだというまゆ  
美さん。撮影で訪れたゆららの足湯  
では、他のお客さんとあっとい間に  
打ち解けていました。「緊張してい  
たので、子どもたちや犬がいてくれ  
てよかったです」と笑顔で話してくれ  
ました。

### 今後の目標を教えてください

もっと知識と技術を身につけて同僚  
にも患者さんにも信頼される歯科衛生  
士になりたいです。

### 休みの日は どのように過ごしていますか?

趣味のスケートボードをしています。  
学生時代、バスケットボールをし  
ていたので、定期的にスポーツをし  
て体を動かさないと落ち着かないです。

## 最上川の自然を満喫♪ ゴムボートで downstream



ゴムボートパフォーマンス部門  
鈴木昭十さん、柳沢明子さんペア

7月15日、「最上川フェスタ2013」が行われました。最上川フェスタは、当町と寒河江市、大江町で組織する「最上川活用地域活性化推進協議会」が主催しており、最上川に親しんでもらおうと毎年開催しているものです。なお、昨年は、大雨による増水で中止となったため、1年ぶりの開催となりました。参加者は、大江町のふれあい会

館から当町のせせらぎ公園までの約11キロの区間で、ゴムボートやカヌーでの川下りに挑戦。「ゴムボート川下り大会」では、タイムレース部門とパフォーマンス部門に分かれ、速さやアイデア・表現力を競いました。タイムレース部門には、一般の部・女性の部・男女混合の部・親子の部に合わせて45組が参加。県内のほか、遠くは千葉県や新潟県など、県外からの参加もありました。パフォーマンス部門では、参加した5組が工夫を凝らしたパフォーマンスを披露しました。中山町からは、鈴木昭十さん(金沢)が柳沢明子さん(山形市)とともに、「さようなら おしんの生家」というテーマで参加。ユニークな装飾をしたボートが注目を浴び、審査員特別賞を受賞しました。参加者は、景色を楽しみながら思い思いのペースで最上川を下り、自然を満喫。沿岸や橋の上に集まった人からの声援にも元気に応えていました。

## 伝統文化を通して交流

## わくわくフェスティバル



八坂神社倭舞の披露

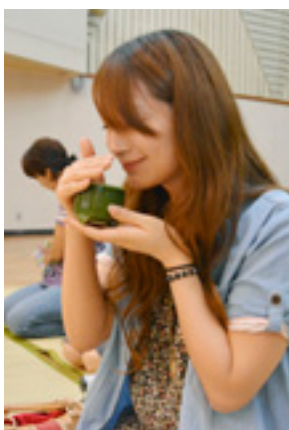


浴衣着付けの披露



お香のお手前披露

7月7日、中央公民館でわくわくフェスティバルが開催されました。このイベントは、「こどもお香教室」、「こどもキモノ教室」、「八坂神社倭舞教室」の3つの教室の子どもたちが、日ごろの稽古の成果を発表するとともに、他の教室同士の交流を図る目的で開催されたものです。日頃の稽古の成果を披露するステージ発表のコーナーでは、各教室の子どもたちによる八坂神社倭舞や音楽に合わせた浴衣の着付け、お香のお手前などが披露され、観



客からは拍手が送られていました。体験コーナーでは、浴衣の着付けやお香の灰づくり、アクセサリー作りなど様々なコーナーが設けられ、参加した子どもたちは、自分を通して教室の伝統文化について互いに教え合いながら、交流を深めていました。